

# 令和6年度 府中町下水道事業 経営審議会 第2回



# はじめに

## 本日の内容

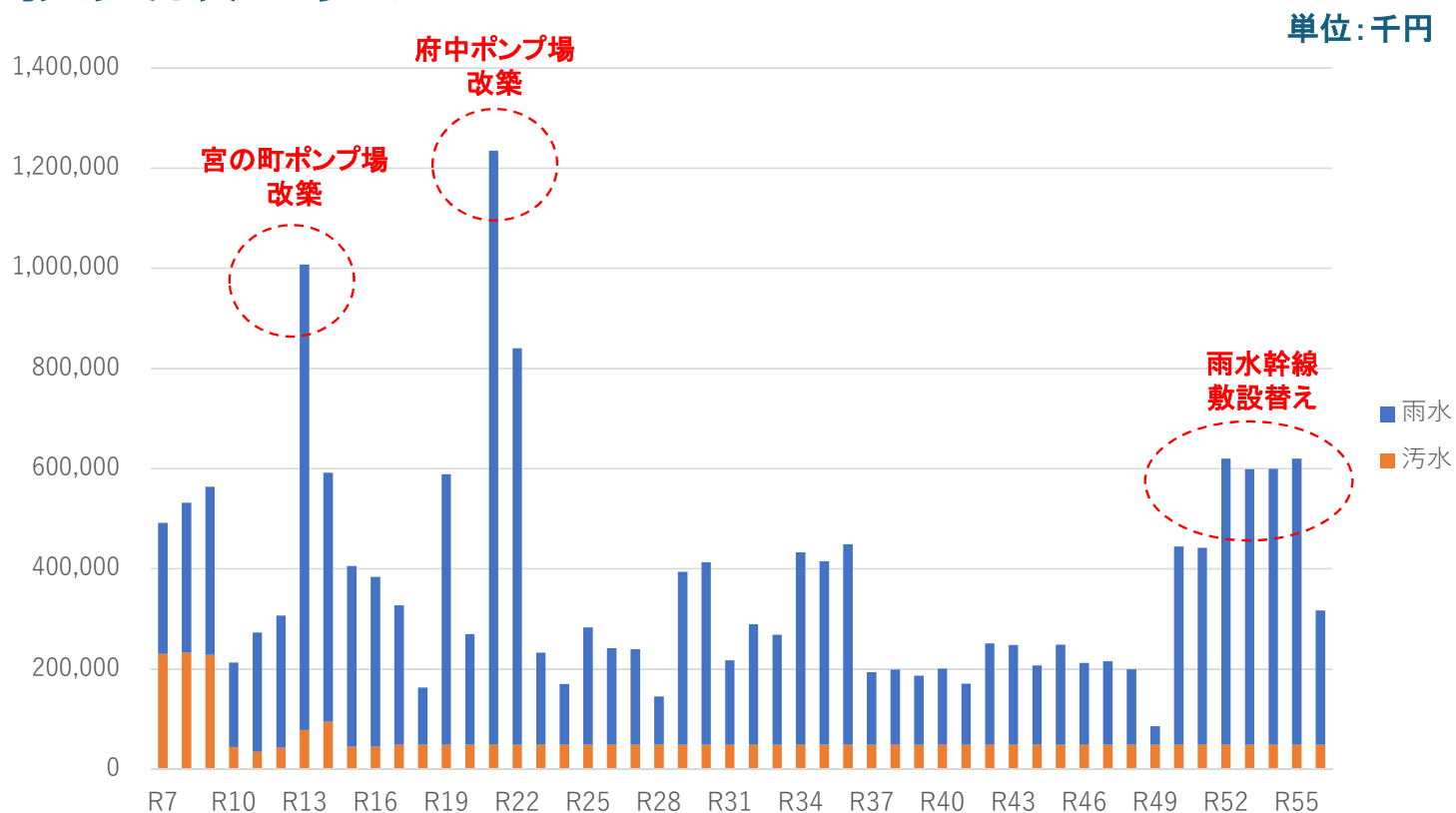
### 0. 第1回の補足説明

### 1. 使用料の検証

### 2. 使用料体系の検討

## 第1回の補足説明

### 投資額の見込



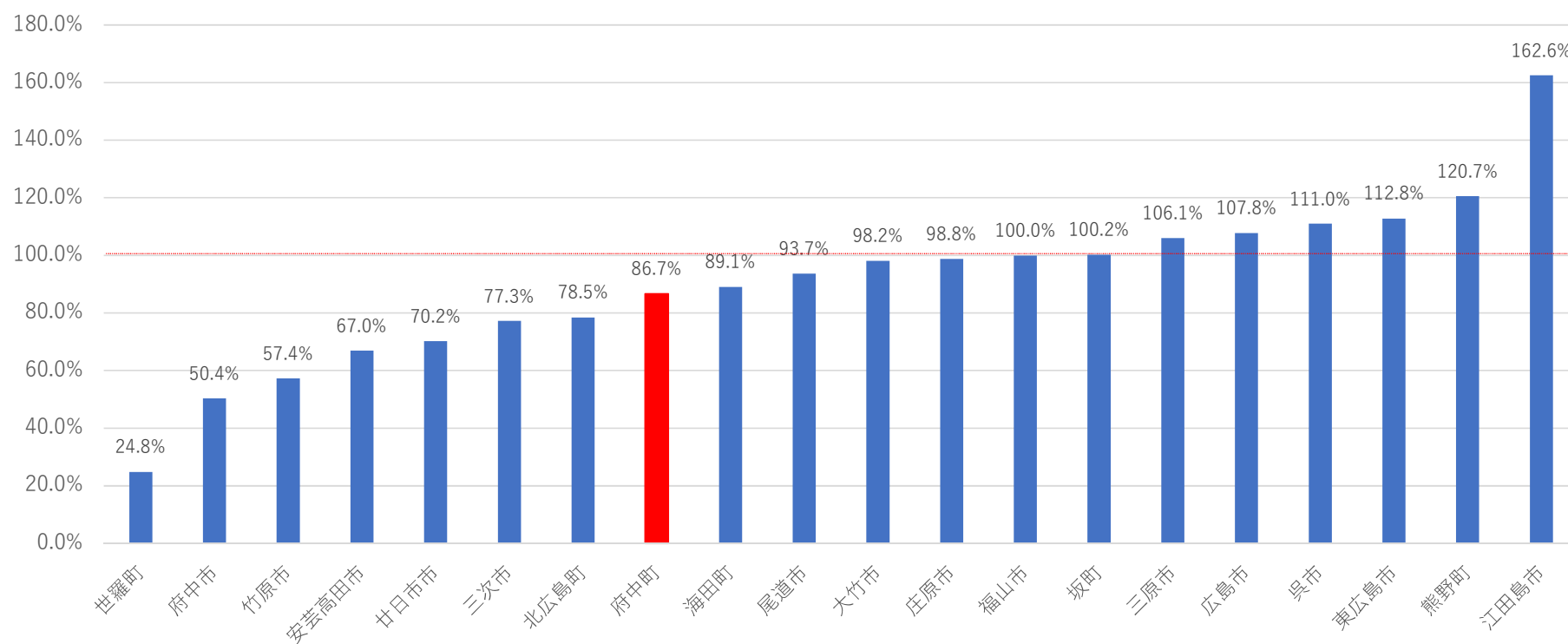
耐用年数を迎えるポンプ場や管渠について、改築・改修に係る投資(建設費)が必要になります。

※ 耐用年数を経過する施設等について、順次更新等を行うことを想定。

## 第1回の補足説明

# 県内市町の経費回収率比較

総務省「令和4年度地方公営企業年鑑」を基に作成  
【下水道使用料／汚水処理費】

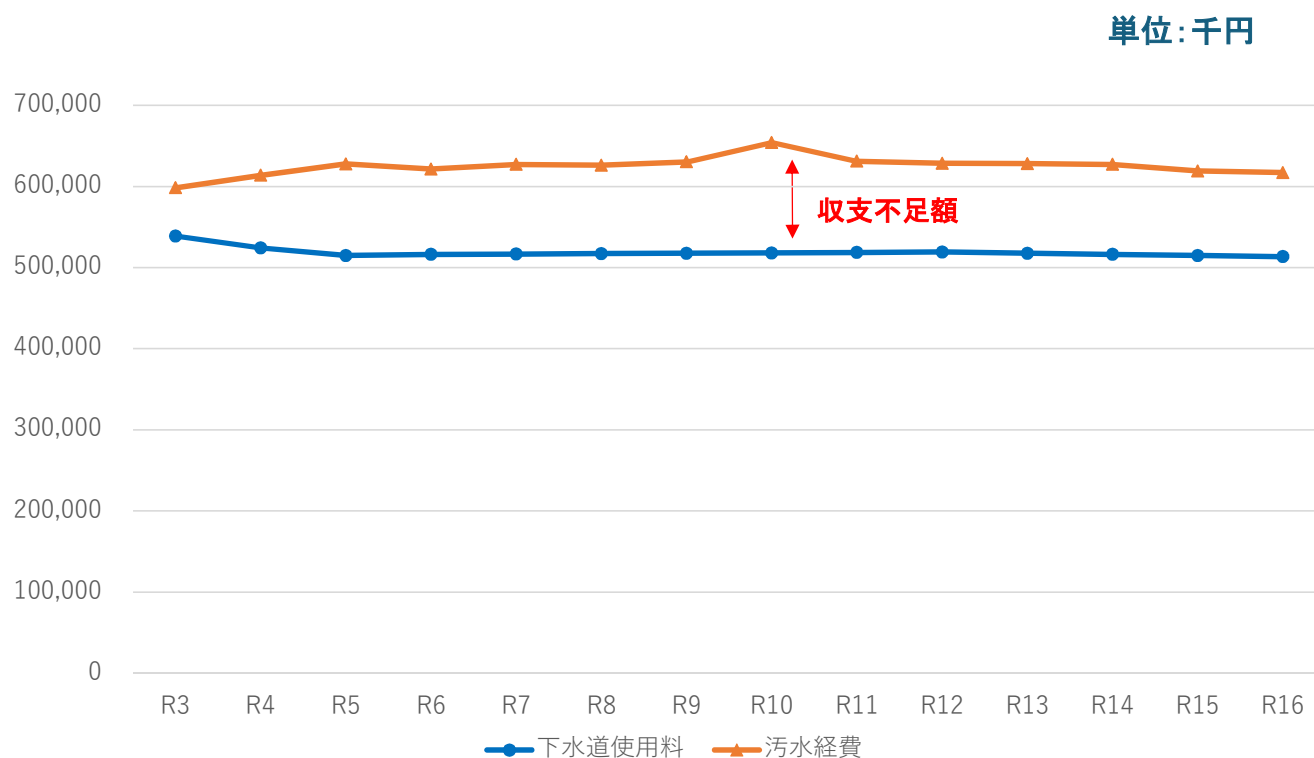


# 1. 使用料の検証

# 1. 使用料の検証

## 前回の再掲

### 汚水に係る収支



汚水処理のために約6億3千万円(1m<sup>3</sup>当たり約158円)の経費がかかります。※

一方で、使用料収入は約5億2千万円(1m<sup>3</sup>当たり約130円)です。

差し引き約1億1千万円(1m<sup>3</sup>当たり約28円)が不足しています。

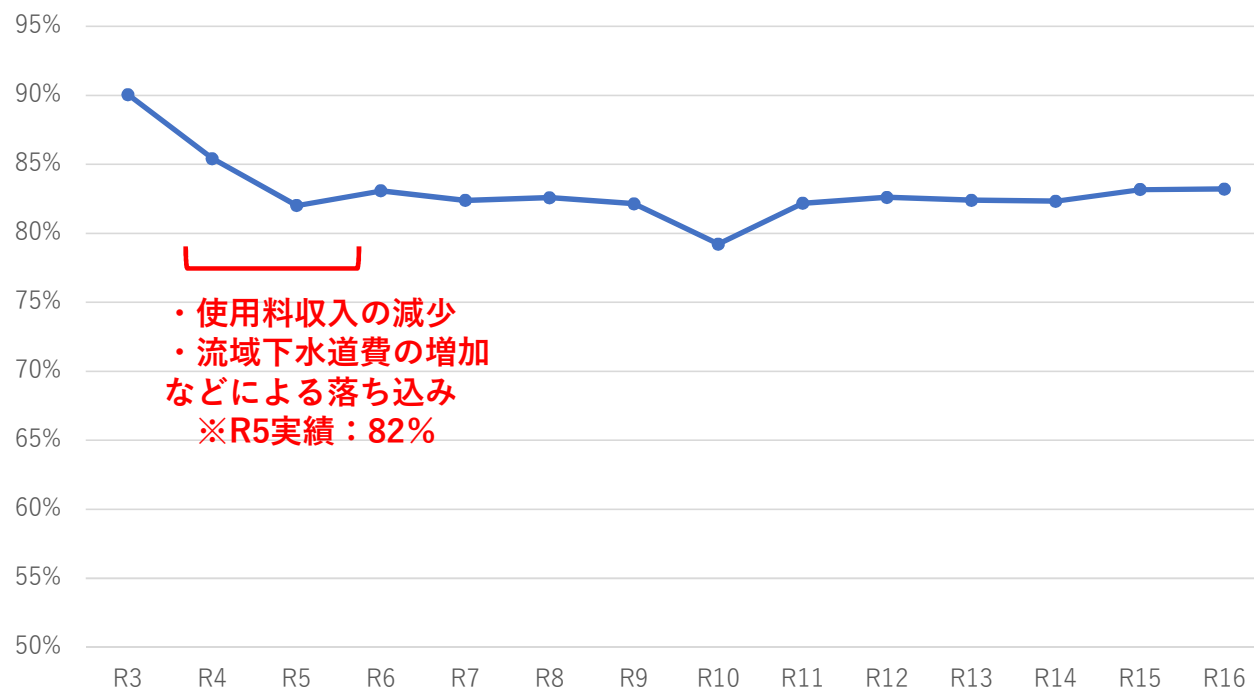
※長期前受金戻入、基準内繰入相当額を控除

# 1. 使用料の検証

## 前回の再掲

## 経費回収率の推移・見込

経費回収率:下水道使用料で、汚水処理に要した費用をどの程度賄えているかを示す指標です。  
【年間の使用料収入／年間の汚水経費】



これまで85～90%で推移していましたが、今後は概ね82%前後で推移する見込みです。

➡ 必要な経費を使用料で賄えない状態(100%未満)が続きます。

# 1. 使用料の検証

## 使用料の検証

使用料の検証および経営戦略の見直しについては、概ね5年以内に行うことが求められています。

【社会資本整備総合交付金交付要綱】（令和6年1月25日最終改正）

公営企業会計の導入済みの地方公共団体について、令和2年度以降、少なくとも5年に1回の頻度で、下水道使用料の改定の必要性に関する検証を行い、経費回収率の向上に向けたロードマップ（中略）を策定し、国土交通省へ提出するとともに、検証結果を公表していること。

【「経営戦略」の改定推進について】（令和4年1月25日付け総務省自治財政局通知）

中長期的な経営の基本計画である経営戦略については、（中略）3年から5年内の見直しを行うことが重要です。

➡ 府中町では令和6年度末までに行う必要があります。

## 1. 使用料の検証

### 使用料の検証、経営戦略の見直し時に必要な検討項目

【社会資本整備総合交付金交付要綱】（令和6年1月25日最終改正）

（前略）下水道使用料の改定の必要性に関する検証を行い、経費回収率の向上に向けたロードマップ（中略）を策定し、国土交通省へ提出するとともに、検証結果を公表していること。

【「経営戦略」の改定推進について】（令和4年1月25日付け総務省自治財政局通知）

- ① 今後の人口減少等を加味した料金収入の的確な反映
- ② 減価償却率や耐用年数等に基づく施設の老朽化を踏まえた将来における所要の更新費用の的確な反映
- ③ 物価上昇等を反映した維持管理費、委託費、動力費等の上昇傾向等の的確な反映
- ④ ①②③等を反映した上での収支を維持する上で必要となる経営改革（料金改定、広域化、民間活用・効率化、事業廃止等）の検討

➡ 経費回収率の向上、収支維持を図る必要があります。

## 1. 使用料の検証

### 使用料の基準

総務省が示す最低限の経営努力として、使用料平均単価150円が示されています。

(平成26年8月29日付け総務省自治財政局通知)

下水道事業における使用料回収対象経費に対する地方財政措置については、最低限行うべき経営努力として、全事業平均水洗化率及び使用料徴収月 3,000 円／20 m<sup>3</sup>を前提として行われていることに留意すること。

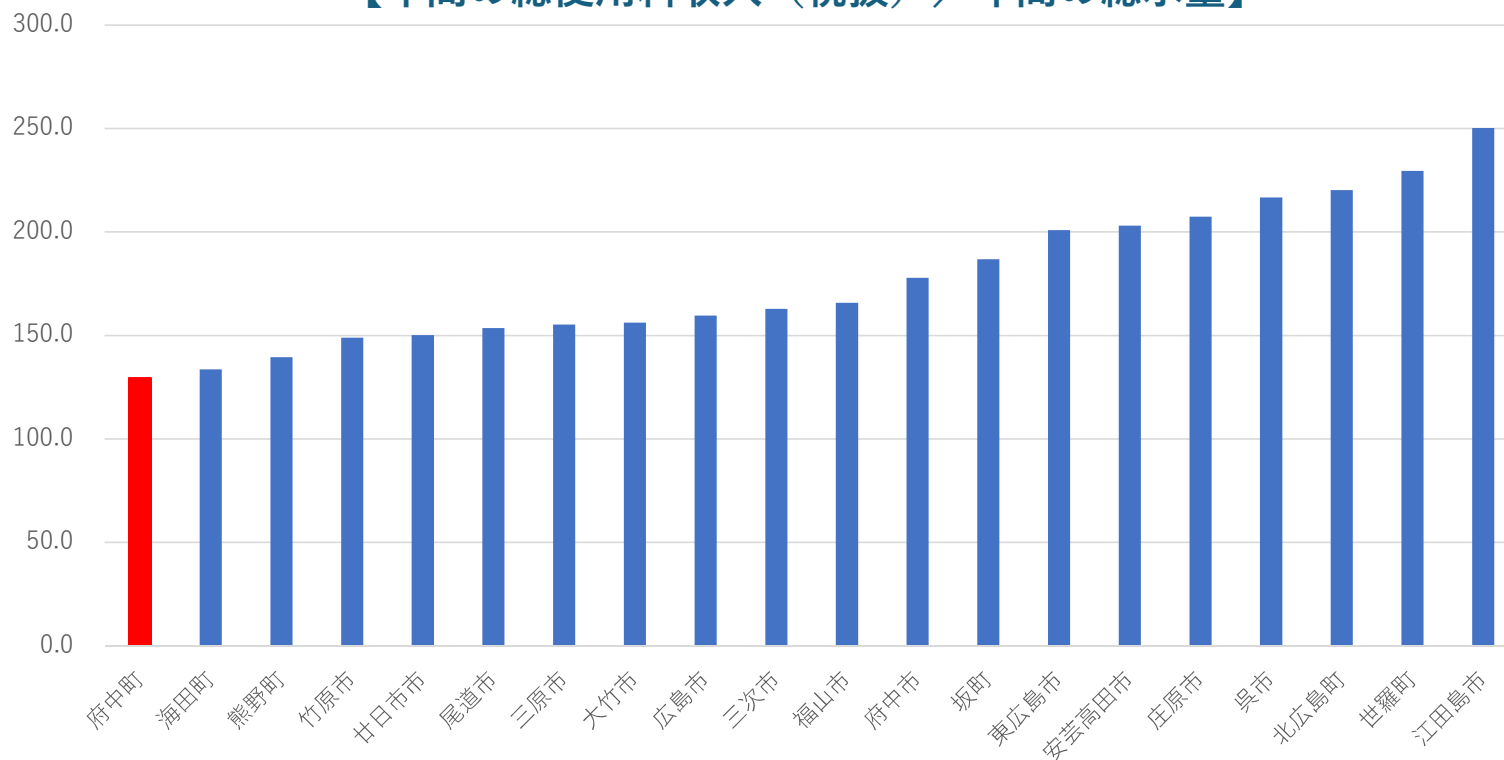
府中町の使用料平均単価は、概ね130円程度であり、  
最低限の基準を下回っています。

府中町の使用料平均単価(R5年度):  $514,987 \text{ 千円} / 3,995,166 \text{ m}^3 = \text{約} 130 \text{ 円}$   
【年間の総使用料収入(税抜)／年間の総水量】

## 1. 使用料の検証

### 参考：県内の使用料平均単価比較

総務省「令和4年度地方公営企業年鑑」を基に作成  
【年間の総使用料収入（税抜）／年間の総水量】



県内市町で使用料平均単価を比較すると、府中町は最も低くなっています。

#### 【府中町が低い要因】

- ・使用料水準が低い
- ・使用料単価が高い大口の使用者が少ない

## 1. 使用料の検証

### 使用料の在り方 ～経費回収率を100%へ～

#### 理想的な姿

足りない部分を全て使用料で賄う + 投資のために利益を出す。

➡ 全体で約23%+ $\alpha$ の引き上げ

#### 最低でも…

国が示す150円の基準を満たす。(不足する部分は一般会計から繰り入れ)

➡ 全体で約16%の引き上げ

※使用料平均単価150円の基準を満たせば、不足する部分への繰入は「基準内繰入」

として扱うことができるようになるため、経費回収率は100%になります。

※引き上げ率には、減免による未収入分を加味しています。

## 1. 使用料の検証

### このまま何もしないとどうなるか…

- 一般会計を圧迫します

本来使用料で負担すべき費用(約1億円／年)を一般会計が負担するため、一般会計で行う事業(福祉、子育て、教育など)を圧迫します。

- 国からの交付金を受けられなくなります

下水道整備のため、国からの交付金を受け取っています。(約2億円／年)

交付金を受ける要件として、経費回収率の向上が求められています。

(府中町の場合、経費回収率を100%とするには使用料平均単価150円が必要)

## 1. 使用料の検証

### 参考：県内市町の使用料改定の状況（令和5年度以降）

|       | 改定率                              | 改定時期  | 備考                       |
|-------|----------------------------------|-------|--------------------------|
| 三原市   | 20%                              | 令和5年度 | 令和8年度に10%<br>引き上げ        |
| 尾道市   | 15.5%                            | 〃     |                          |
| 大竹市   | 8%                               | 〃     |                          |
| 廿日市市  | 7%                               | 〃     | 3回に分けて最終的に<br>22.5%の引き上げ |
| 安芸高田市 | 10%                              | 〃     | 平成30年度に10%<br>引き上げ       |
| 呉市    | 6.2%                             | 令和6年度 |                          |
| 三次市   | 約30%<br>(20m <sup>3</sup> /月の場合) | 〃     | 令和6年10月予定                |



## 2. 使用料体系の検討

## 2. 使用料体系の検討

### 現行の使用料体系

1 か月あたりの使用料（消費税抜）

| 区分             | 排出量       | 一般家庭汚水 | 営業汚水 | 公衆浴場汚水 | プール等汚水        |
|----------------|-----------|--------|------|--------|---------------|
| 基本料金           | 0～6㎥      | 695円   | 695円 | 695円   | 1㎥につき<br>177円 |
| 超過料金<br>※1㎥につき | 7㎥～10㎥    | 5円     | 5円   | 5円     |               |
|                | 11㎥～15㎥   | 106円   | 106円 | 106円   |               |
|                | 16㎥～20㎥   | 162円   | 177円 | 162円   |               |
|                | 21㎥～40㎥   | 233円   | 256円 | 35円    |               |
|                | 41㎥～100㎥  | 311円   | 326円 |        |               |
|                | 101㎥～200㎥ | 344円   | 395円 |        |               |
|                | 201～500㎥  |        | 440円 |        |               |
|                | 501～1000㎥ |        | 472円 |        |               |
|                | 1001㎥～    |        | 495円 |        |               |

## 2. 使用料体系の検討

### 現行の使用料体系

- 基本使用料と従量使用料からなる二部使用料制です。
- 従量使用料は使用水量が多くなるほど単価が高くなります(累進制)。

| 区分                           | 排出量                               | 金額(税抜) |
|------------------------------|-----------------------------------|--------|
| 基本料金                         | 0~6m <sup>3</sup>                 | 695円   |
| 超過料金<br>※1m <sup>3</sup> につき | 7m <sup>3</sup> ~10m <sup>3</sup> | 5円     |
|                              | ...                               | ...    |
|                              | 101m <sup>3</sup> ~               | 344円   |

累進度：68.8  
(最高単価 344／最低単価 5)  
※ 営業汚水は99.0

→府中町と広島市を除く累進度の  
県内平均は2.8

使用水量が少ない使用者には負担が軽い一方、  
多い使用者にとっては負担が重くなっています。

## 2. 使用料体系の検討

### 現行の使用料体系（他市町との比較）

家庭用 1 か月分（消費税抜）

| 排水量               | 府中町    | 竹原市    | 熊野町    | 東広島市   | 廿日市市   | 福山市    | 三次市    |
|-------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 0m <sup>3</sup>   | 695    | 800    | 1,000  | 1,000  | 1,070  | 790    | 1,040  |
| 10m <sup>3</sup>  | 715    | 1,080  | 1,000  | 1,000  | 1,070  | 990    | 1,320  |
| 20m <sup>3</sup>  | 2,055  | 2,480  | 2,500  | 2,563  | 2,620  | 2,660  | 2,720  |
| 40m <sup>3</sup>  | 6,715  | 5,880  | 5,950  | 6,262  | 6,790  | 7,550  | 5,920  |
| 50m <sup>3</sup>  | 9,825  | 7,680  | 7,750  | 8,207  | 8,980  | 10,160 | 7,520  |
| 100m <sup>3</sup> | 25,375 | 17,180 | 17,500 | 18,887 | 20,230 | 23,210 | 16,520 |



## 2. 使用料体系の検討

### 現行の使用料体系(区分ごとの件数)

| m <sup>3</sup> | 家庭用   |              | 業務用 |              |
|----------------|-------|--------------|-----|--------------|
|                | 件数    | 割合           | 件数  | 割合           |
| 0～10           | 6,315 | <b>31.7%</b> | 587 | <b>51.0%</b> |
| 11～20          | 9,250 | <b>46.5%</b> | 374 | <b>32.5%</b> |
| 21～40          | 4,209 | 21.1%        | 73  | 6.4%         |
| 41～100         | 127   | 0.6%         | 66  | 5.7%         |
| 101～200        | 1     | 0.0%         | 19  | 1.7%         |
| 201～500        | —     | —            | 18  | 1.6%         |
| 501～1000       | —     | —            | 9   | 0.8%         |
| 1001～          | —     | —            | 4   | 0.4%         |

家庭用、業務用ともに  
20m<sup>3</sup>までの使用者が  
約80%を占めています。

※令和5年度実績値 件数は年間件数の1ヵ月平均数

## 2. 使用料体系の検討

### 使用料体系の試算

「経費回収率を100%とする」ことを条件として、検討にあたっての原案となる使用料体系のパターンを以下のとおり設定しています。

| 設定 1                      | 設定 2                                   |
|---------------------------|----------------------------------------|
| A : 利益を見込む改定率<br>(全体で25%) | ① : 各単価に一定額を加算<br>② : 各単価に一定率 + 一定額を加算 |
| B : 最低限度の改定率<br>(全体で16%)  | ③ : 基本料金のみ加算<br>④ : バランスを考慮して配分        |

## 2. 使用料体系の検討

### 使用料体系案(A-①案) 【25%:一定額加算】

【家庭用 1 か月あたりの使用料（税抜）】

| 区分   | 排出量<br>(m <sup>3</sup> ) | 現行<br>(円) | 改定案<br>(円) | 改定率    |
|------|--------------------------|-----------|------------|--------|
| 基本料金 | 0～6                      | 695       | 893        | 28.5%  |
| 従量料金 | 7～10                     | 5         | 38         | 660.0% |
|      | 11～15                    | 106       | 139        | 31.1%  |
|      | 16～20                    | 162       | 195        | 20.4%  |
|      | 21～40                    | 233       | 266        | 14.2%  |
|      | 41～100                   | 311       | 344        | 10.6%  |
|      | 101～                     | 344       | 377        | 9.6%   |

・基本料金に198円加算したうえで、各使用料単価に33円を加算することで、全体で約25%の収入増とします。

・使用水量が多いほど改定率は小さくなるため、比較的大口使用者の負担が軽くなっています。

## 2. 使用料体系の検討

### 使用料体系案(A-②案) 【25%:一定率 + 一定額加算】

【家庭用 1 か月あたりの使用料（税抜）】

| 区分   | 排出量<br>(m <sup>3</sup> ) | 現行<br>(円) | 改定案<br>(円) | 改定率    |
|------|--------------------------|-----------|------------|--------|
| 基本料金 | 0～6                      | 695       | 887        | 27.6%  |
| 従量料金 | 7～10                     | 5         | 22         | 340.0% |
|      | 11～15                    | 106       | 136        | 28.3%  |
|      | 16～20                    | 162       | 200        | 23.5%  |
|      | 21～40                    | 233       | 280        | 20.2%  |
|      | 41～100                   | 311       | 368        | 18.3%  |
|      | 101～                     | 344       | 405        | 17.7%  |

- ・基本料金に192円加算したうえで、各使用料単価を13%増額するとともに、17円を加算することで、全体で約25%の収入増とします。
- ・①案と比較して、小口使用者の負担が軽く、大口使用者の負担が重くなっています。

## 2. 使用料体系の検討

### 使用料体系案(A-③案) 【25%:基本料金加算】

【家庭用 1 か月あたりの使用料 (税抜)】

| 区分   | 排出量<br>(m <sup>3</sup> ) | 現行<br>(円) | 改定案<br>(円) | 改定率   |
|------|--------------------------|-----------|------------|-------|
| 基本料金 | 0～6                      | 695       | 1,240      | 78.4% |
| 従量料金 | 7～10                     | 5         | 5          | 0%    |
|      | 11～15                    | 106       | 106        | 0%    |
|      | 16～20                    | 162       | 162        | 0%    |
|      | 21～40                    | 233       | 233        | 0%    |
|      | 41～100                   | 311       | 311        | 0%    |
|      | 101～                     | 344       | 344        | 0%    |

- ・基本料金を1,240円に引き上げることで、全体で約25%の収入増とします。(全使用者一律に545円増)
- ・固定的な費用は極力基本料金で回収すべきとの考えによるものであり、使用水量が少ないほど負担は大きくなります。

## 2. 使用料体系の検討

### 使用料体系案(A-④案) 【25%: バランスを考慮して配分】

【家庭用 1 か月あたりの使用料（税抜）】

| 区分   | 排出量<br>(m <sup>3</sup> ) | 現行<br>(円) | 改定案<br>(円) | 改定率     |
|------|--------------------------|-----------|------------|---------|
| 基本料金 | 0～6                      | 695       | 820        | 18.0%   |
| 従量料金 | 7～10                     | 5         | 60         | 1100.0% |
|      | 11～15                    | 106       | 135        | 27.4%   |
|      | 16～20                    | 162       | 200        | 23.5%   |
|      | 21～40                    | 233       | 270        | 15.9%   |
|      | 41～100                   | 311       | 355        | 14.1%   |
|      | 101～                     | 344       | 390        | 13.4%   |

- ・全体で約25%の収入増となるよう、極端に高くなる部分がないようにバランスを考慮して配分します。
- ・累進度を考慮し、大排出量の単価を抑える一方、極力負担の分散を図っています。

## 2. 使用料体系の検討

### 使用料体系案(B-①案)【16%:一定額加算】

【家庭用 1 か月あたりの使用料（税抜）】

| 区分   | 排出量<br>(m <sup>3</sup> ) | 現行<br>(円) | 改定案<br>(円) | 改定率    |
|------|--------------------------|-----------|------------|--------|
| 基本料金 | 0～6                      | 695       | 821        | 18.1%  |
| 従量料金 | 7～10                     | 5         | 26         | 420.0% |
|      | 11～15                    | 106       | 127        | 19.8%  |
|      | 16～20                    | 162       | 183        | 13.0%  |
|      | 21～40                    | 233       | 254        | 9.0%   |
|      | 41～100                   | 311       | 332        | 6.8%   |
|      | 101～                     | 344       | 365        | 6.1%   |

・基本料金に198円加算したうえで、各使用料単価に21円を加算することで、全体で約16%の収入増とします。

・使用水量が多いほど改定率は小さくなるため、比較的大口使用者の負担が軽くなっています。

## 2. 使用料体系の検討

### 使用料体系案(B-②案)【16%:一定率 + 一定額加算】

【家庭用 1 か月あたりの使用料（税抜）】

| 区分   | 排出量<br>(m <sup>3</sup> ) | 現行<br>(円) | 改定案<br>(円) | 改定率    |
|------|--------------------------|-----------|------------|--------|
| 基本料金 | 0～6                      | 695       | 816        | 17.4%  |
| 従量料金 | 7～10                     | 5         | 16         | 220.0% |
|      | 11～15                    | 106       | 125        | 17.9%  |
|      | 16～20                    | 162       | 185        | 14.2%  |
|      | 21～40                    | 233       | 262        | 12.4%  |
|      | 41～100                   | 311       | 346        | 11.3%  |
|      | 101～                     | 344       | 382        | 11.0%  |

- ・基本料金に121円加算したうえで、各使用料単価を8%増額するとともに、11円を加算することで、全体で約16%の収入増とします。
- ・①案と比較して、小口使用者の負担が軽く、大口使用者の負担が重くなっています。

## 2. 使用料体系の検討

### 使用料体系案(B-③案) 【16%:基本料金加算】

【家庭用 1 か月あたりの使用料 (税抜)】

| 区分   | 排出量<br>(m <sup>3</sup> ) | 現行<br>(円) | 改定案<br>(円) | 改定率   |
|------|--------------------------|-----------|------------|-------|
| 基本料金 | 0～6                      | 695       | 1,053      | 51.5% |
| 従量料金 | 7～10                     | 5         | 5          | 0%    |
|      | 11～15                    | 106       | 106        | 0%    |
|      | 16～20                    | 162       | 162        | 0%    |
|      | 21～40                    | 233       | 233        | 0%    |
|      | 41～100                   | 311       | 311        | 0%    |
|      | 101～                     | 344       | 344        | 0%    |

- ・基本料金を1,053円に引き上げることで、全体で約16%の収入増とします。(全使用者一律に358円増)
- ・固定的な費用は極力基本料金で回収すべきとの考えによるものであり、使用水量が少ないほど負担は大きくなります。

## 2. 使用料体系の検討

### 使用料体系案(B-④案) 【16%: バランスを考慮して配分】

【家庭用 1 か月あたりの使用料 (税抜)】

| 区分   | 排出量<br>(m <sup>3</sup> ) | 現行<br>(円) | 改定案<br>(円) | 改定率    |
|------|--------------------------|-----------|------------|--------|
| 基本料金 | 0～6                      | 695       | 800        | 15.1%  |
| 従量料金 | 7～10                     | 5         | 40         | 700.0% |
|      | 11～15                    | 106       | 120        | 13.2%  |
|      | 16～20                    | 162       | 180        | 11.1%  |
|      | 21～40                    | 233       | 255        | 9.4%   |
|      | 41～100                   | 311       | 340        | 9.3%   |
|      | 101～                     | 344       | 380        | 10.5%  |

- ・全体で約16%の収入増となるよう、極端に高くなる部分がないようにバランスを考慮して配分します。
- ・累進度を考慮し、大排出量の単価を抑える一方、極力負担の分散を図っています。

## 2. 使用料体系の検討

### 使用料体系案の比較(A案:25%)

【家庭用 1 か月あたりの使用料（税抜）】

| 排出量               | 現行     | A-①    |     | A-②    |     | A-③    |     | A-④    |     |
|-------------------|--------|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|
|                   | 金額     | 金額     | 改定率 | 金額     | 改定率 | 金額     | 改定率 | 金額     | 改定率 |
| 10m <sup>3</sup>  | 715    | 1,045  | 46% | 975    | 36% | 1,260  | 76% | 1,060  | 48% |
| 20m <sup>3</sup>  | 2,055  | 2,715  | 32% | 2,655  | 29% | 2,600  | 27% | 2,735  | 33% |
| 30m <sup>3</sup>  | 4,385  | 5,375  | 23% | 5,455  | 24% | 4,930  | 12% | 5,435  | 24% |
| 40m <sup>3</sup>  | 6,715  | 8,035  | 20% | 8,255  | 23% | 7,260  | 8%  | 8,135  | 21% |
| 50m <sup>3</sup>  | 9,825  | 11,475 | 17% | 11,935 | 22% | 10,370 | 6%  | 11,685 | 19% |
| 100m <sup>3</sup> | 25,375 | 28,675 | 13% | 30,335 | 20% | 25,920 | 2%  | 29,435 | 16% |

## 2. 使用料体系の検討

### 使用料体系案の比較(B案:16%)

【家庭用 1 か月あたりの使用料（税抜）】

| 排出量               | 現行     | B-①    |     | B-②    |     | B-③    |     | B-④    |     |
|-------------------|--------|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|
|                   | 金額     | 金額     | 改定率 | 金額     | 改定率 | 金額     | 改定率 | 金額     | 改定率 |
| 10m <sup>3</sup>  | 715    | 925    | 29% | 880    | 23% | 1,073  | 50% | 960    | 34% |
| 20m <sup>3</sup>  | 2,055  | 2,475  | 20% | 2,430  | 18% | 2,413  | 17% | 2,460  | 20% |
| 30m <sup>3</sup>  | 4,385  | 5,015  | 14% | 5,050  | 15% | 4,743  | 8%  | 5,010  | 14% |
| 40m <sup>3</sup>  | 6,715  | 7,555  | 13% | 7,670  | 14% | 7,073  | 5%  | 7,560  | 13% |
| 50m <sup>3</sup>  | 9,825  | 10,875 | 11% | 11,130 | 13% | 10,183 | 4%  | 10,960 | 12% |
| 100m <sup>3</sup> | 25,375 | 27,475 | 8%  | 28,430 | 12% | 25,733 | 1%  | 27,960 | 10% |

## 2. 使用料体系の検討

使用料体系の検討にあたってのポイント(まとめ)

- ①目指すべき使用料収入の水準
- ②使用量に応じた負担の在り方